

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 牧、上田、石川、水足、福田、畠村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	1人	0人	12人

**前回の改善計画**

職員の資格や職種、勤務条件等の違いにより、ケアの質に差が生じている。職員間の連携（特にケアマネジャーと他の職員）や情報の共有がスムーズに出来るように、又全職員が利用者や家族の状況を把握出来るように、ミーティングの在り方や連絡ノートの記載の仕方や活用方法を改善する。利用者への声かけや良い関係づくりが出来る事は当然であり、それからもう一歩進んで問題点の把握や改善の為に介入が図れるように、職員の質の向上を図るための事業所内の勉強会や外部研修を継続する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

事業所内の定例勉強会は月1回開催継続出来ている。コロナ禍で感染防止対策により外部研修会の開催が途絶えたが、国民健康保険連合会の動画セミナー研修を全職員が受ける事が出来た。毎日の業務ミーティングは継続して実施し、職員間で正しい情報の共有が出来る様に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	14	2	0	21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	14	2	0	21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	14	3	0	21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	11	6	0	21

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎朝・夕のミーティングやケアマネからの情報に目を通す事による職員間での情報の共有、連絡ノートの活用や送迎時の家族との会話などからの情報収集が出来ている。  
毎日のケアの中で、利用者の表情等にも注意を払いながら不安等への対応を行う事で信頼関係が築けている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

毎日のミーティングに参加できない職員は（シフト勤務の為）、細かい利用者の変化などが把握出来にくい場合もあり、一歩進んだ関わりまで出来ていない。  
業務や時間に追われて、利用者や家族とゆっくり関わることが難しい。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

職種の違いや勤務時間の関係で、必要な情報の共有がスムーズにいかないことがある。ミーティングに参加できない職員にも必要な情報が洩れずに伝わるように、パート職員の意識向上を図る。  
又管理者・ケアマネ・当日のリーダーが連携し、連絡ノートへの記載事項の漏れを無くしていくと共に、職員間の連携を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 牧、上田、石川、水足、福田、畠村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	2人	人	10人

前回の改善計画
職員全員が一人一人の利用者の目標についてわかる為に、ケアプランの内容を深めたり確認したりするための事例検討会を開催する。利用者の生活に根差したケアプランに変えていく。勤務時間が短く事例検討会への出席ができないパート職員にも、利用者についての情報の共有が出来るように個別指導指等を実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
サービス担当者会議にはケアマネ・管理者が出席し、会議の内容や結果をスタッフに伝えている。ケアプランや報告書等は利用者のカルテに綴じ、スタッフ誰もが必要時閲覧できるようにしている。毎月の業務会議や職員会議で、利用者の課題について事例検討会を開催し、ケアの方向性の統一を図っている。会議に出席出来なかったスタッフには後日時間を設定してグループ会議を開催している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	2	14	3	2	21
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	16	1	2	21
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	17	1	2	21
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	13	4	2	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の利用者との会話の中で希望等を聞くことに努め、ケアマネにも相談しながら実行に繋げている。職員会議での事例検討の内容をケアプランに反映している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランの内容の確認を怠ったり忘れてしまったりして、適切な対応が出来ないことがある。利用者一人一人のゴールの理解が出来ていない。情報不足や関わる機会が少なく出来ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員全体で取り組めるように、日々の業務の中に利用者に関われる時間を作れるように、勤務配分を行う。ケアマネからの情報やケアプランを確認する。又確認した内容を職員間で話し合い、利用者の目標に沿ったケアに繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

3. 日常生活の支援

メンバー 牧、上田、石川、水足、福田、畠村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	0人	10人

前回の改善計画
全ての利用者に関してより良いケアに繋げていく為に、問題のあるなしに関わらず最低でも1回は事例検討会を持ち、基本的な情報や以前の暮らし、環境、体調や精神面等に係る情報を把握し職員間で共有できる機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎月の職員会議での事例検討会は、継続した課題のある利用者について2人から3人を実施。その他日々の生活課題の発生時には毎夕のその日のミーティング時に事例検討を実施し、早期介入による生活の安定及び職員間のケアの統一を図っている。取り立てて検討する様な課題がない利用者への働きかけが画一的になりがちである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	5	11	2	21
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	16	0	1	21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	12	8	0	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	14	3	0	21
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11	6	0	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	家族とも連絡ノートを通して、体調や精神面の変化を把握し日々の支援を実施する事に努めている。スタッフ間のコミュニケーションを密にすることで、ケアの内容にばらつきがないように心がけている。利用者の様子を観察したり、気になる時は声かけをして状況の把握に努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	① に関して、利用者一人一人に対して10個以上把握は出来ていない。日々の業務に追われると、一人一人の利用者との関わりが少なくなる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	生活や症状等が安定している利用者に対しても、日々のかかわりの中で利用者が遠慮なく発言出来る機会を作っていく。例えば担当スタッフを決めてコミュニケーションの機会を持つ等。利用者の体調の変化に気づいた時は、早めに他のスタッフと情報を共有し複数でのケアに繋げていく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 牧、上田、石川、水足、福田、畠村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	4人	人	人	10人

前回の改善計画	利用者や利用者を取り巻く家族や地域の状況について把握した情報を全ての職員が閲覧出来る様に、利用者毎に情報シート(仮名称)を作成する。運営推進会議の場などで地域の社会資源についての情報を得る。又得た情報を職員にも伝え、利用者の役に立てる様に関わって行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランやサービス担当者会議で得た情報については閲覧出来るようにしているが、全てのスタッフがきちんと閲覧しケアに役立っているかは心もとない。情報シートの作成は出来ていない。コロナ禍で運営推進会議の開催も出来にくくなり、社会的な理由で地域と連携が取りにくい状況にあるが、利用者・スタッフの地域体操参加を心掛けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	10	7	2	21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	8	3	21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	7	10	2	19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	3	8	8	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
訪問支援でかわりを持つことで、暮らしについての情報収集が出来、支援が出来ている。本人やケアマネから自宅や地域での暮らしの情報を入手し、ケアに反映出来る様努力している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員さんや地域資源の情報はケアマネジャーや管理者等、特定のスタッフしか把握できていない。他事業所との兼務や勤務時間が短いパートの職員が多い為、地域と関わる機会が持ちにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
会議などに参加しないスタッフも、送迎や訪問ケアなどに従事する時に、家族や地域の方に会う機会がある。そういう機会を自分で有効活用して、地域での暮らしの情報を把握する等し、又自分が知りえた情報を、職場のミーティング等で共有する事に努め支援に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 南、石田、石坂、伊集院、中澤、大池

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画	介護保険サービスだけでは不足する部分があれば、地域関係者等との連携を図り、地域資源 (人・物等) を利用しての支援に結び付けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍という思わぬ出来事が社会に蔓延し、介護事業所に於いては高齢者のコロナウィルス感染予防の徹底を図る事が一番の責務となったことから、地域や他者との交流を持つ事を禁止せざるを得ない状況であった為、地域社会資源の新たな活用には至らなかった。しかし自宅や事業所内に於いては柔軟な支援が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	6	6	21
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	10	4	6	21
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	10	4	2	21
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	11	2	3	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティング等で利用者のニーズを職員が共有し、出来る事や楽しみを見いだせる支援に繋げる事が出来ている。レクリエーションで利用者同士の交流を図り、仲間づくりにつなげる等。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者のニーズを把握したり引き出したりすることは、日々のかかわりの中で比較的出来ているが、家族のニーズを知るための家族との関係の構築や、知りえた情報をアセスメントする事がまだ不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人や家族がどのような生活を望んでいるのかを、ケアプランに反映していく。 地域にある社会資源の情報 (内容を文章化したり、写真や地図で示したり) をファイルして、 情報提供しやすくしておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

6. 連携・協働

メンバー 南、石田、石坂、伊集院、中澤、大池

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画
地域の住民の方々が気軽に立ち寄れる場づくりをしたい。今年度出来なかった地域に案内を出してテラスお茶会の開催を実行に移したい。
前回の改善計画に対する取組み結果
裏庭にお茶会などが出来る様にテラスを増設した。今年の春に向けてテラスを利用したレクリエーションを計画予定。コロナが落ち着いたら地域の方とお茶会が出来る様な計画も立てたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	4	4	5	8	21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	5	5	11	21
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	0	8	5	8	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	2	16	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネジャーや管理者、地域の会議や医療機関、福祉用具事業所と連携が取れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍で地域との交流が制限されている為、連携の機会が減っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナが落ち着いたら、地域の方々も参加が出来る行事を計画する。事業所の行事を回覧板等にのせ地域に発信し参加の呼びかけを行う等、地域の方が足を運びやすい事業所づくりをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

7. 運営

メンバー 南、石田、石坂、伊集院、中澤、大池

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画	出来るだけ多くの職員が地域との交流に参加出来る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の為地域との交流の機会が少なくなったが、地域体操再開時等ほどのスタッフも地域の方々との交流が図れるように参加スタッフを配慮した。運営会議の開催も密を避ける為に書類報告のみになった月もあり、話し合いの場が少なかった。町内の回覧板を回して貰えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	8	5	8	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	13	2	5	21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	6	5	21
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	10	6	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	クレームや利用者からの提案には、早めの対応を心掛けている。 配食サービス (利用者対象) や地域体操の参加等が出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	コロナ禍の為、地域の方が事業所を訪れる機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	コロナ感染の心配がないようになったら、運営会議や地域体操等の場を通して、又積極的に地域に出ていく機会を増やし、風通しの良い意見が言いやすい事業所にしていく。 出来るだけ多くの職員が地域との交流に参加できる様にする。又参加した職員は積極的に地域の方々とのコミュニケーションを図り、地域の状況を利用者や他の職員に伝え社会参加に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 南、石田、石坂、伊集院、中澤、大池

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	0人	4人	12人

前回の改善計画  
今年度同様、来年度も職員一人一人が年間の研修計画を立て、今年度出来なかった事に取り組めるようにしていく。職場内研修を充実させる。例えば講師を招いての勉強会の開催など。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職員一人一人が年間研修計画を立案し取り組んでいるが、実際の取り組みには個人差がある。月に1回の全員での勉強会は大半のスタッフが意欲的に取り組めた。コロナ禍で外部の講演会や講師を招いての勉強会は出来なかったが、オンライン研修を大半の職員が受講した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	11	0	5	21
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	8	2	8	21
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	1	17	21
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	11	1	7	21

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
職場内研修は月1回実施出来ている。  
リスクマネジメントに関しては、危険を早めに察知し対応出来るように心がけている。  
ヒヤリ・ハットの記録の習慣づけを行い再発防止に取り組んでいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コロナ禍の為外部研修に参加できなかった。外部研修自体が中止になることが多かった。  
オンライン研修に慣れていない為、参加に躊躇するスタッフもいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
オンライン研修等に自分から積極的に参加する。  
運営推進委員会に、委員以外のスタッフも交替で参加し、意識をたかめる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年2月22日 ( 18:30 ~ 19:10 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 南、石田、石坂、伊集院、中澤、大池

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	0人	0人	10人

前回の改善計画
事業所評価についての職員勉強会を開催し、評価の内容の意味を全職員が理解して個別評価が出来る様にし、次回の事業所評価に繋げていく。 身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の管理は介護事業所にとって大事な守るべき事である。今後も定期的な勉強会を開催し、職員及び事業所の質の向上に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
虐待に関しては年に1回は施設内研修会を持ち意識向上に努めている。その他は必要に応じてミーティング時等で話し合いを実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	7	0	0	21
②	虐待は行われていない	15	6	0	0	21
③	プライバシーが守られている	12	9	0	0	21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	3	10	21
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	10	0	1	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者やご家族のプライバシーが守れるような支援に努めている。身体拘束や虐待も起きていない。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	成年後見制度に関しての理解が不十分である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	勉強会を開催し成年後見制度の理解を深める。 身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の保護に関しての定期的な勉強会を継続。 利用者への適切な言葉遣いが出来る様になる。

地②-6

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 杏友会	代表者	野津原 昭	法人・事業所の特徴	母体が医療法人である事から医療連携がスムーズに取れる。看護師・准看護師の資格を持つ職員が多く就業しており、医療依存度の高い利用者も安心して利用できる。セラピストを配置して通い利用者へのリハビリ訓練を実施する事で、筋力低下による転倒・骨折予防に力をいれている。又地域の住民の方との交流、外出レク等を毎月計画し地域とのつながりの中でその人らしい生活の支援が出来る様心がけている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ゆう	管理者	畠村 千賀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○職員の誰もが地域と馴染みの関係になれる様に、外部に開かれた事業所を作って行く。 ○利用者一人一人の声をきちんと聴いて介護に活かしていく。	コロナ感染予防の為外部との交流が制限されている現状ではあるが、感染が下火の時は地域との交流再開している。毎日職員間でミーティング実施し利用者・ご家族の情報を共有しケアに反映させている。スタッフの研修にも力を入れている。	ご家族代表より、職員の名前が分かると母との会話ももっとつながるし、送迎時の職員との交流も親近感が持てると思う。職員の名前が分かるようにしてほしい。	○毎月配布している月の行事等の予定表に、職員の写真と名前を載せるようにする(月2名程順番に載せる)。 ○利用者の変化を察知し適切な対応がどの職員も出来る様、研修等を通して職員の専門性を高める。
B. 事業所のしつらえ・環境	○地域の方が自由に入出入りしやすいように、環境面の改善が必要。イベント等がある時には表に案内版を設ける等、地域の方も一緒に楽しめる工夫をする。	玄関花壇に花を植えたり、廊下やホールに利用者の手作りの作品を展示したり、テーブルの配置を工夫する等、ゆっくり落ち着いた空間作りを心掛けている。ここ2年半程はコロナ禍の為外出行事を控え、事業所内で利用者が楽しめる行事や活動を増やす工夫をしている。	認知症の方で徘徊される方に、玄関にカギを掛けるのではなく、ケで対応出来ている。スタッフが1対1で付き添う事で安心して過ごして頂ける。オンライン動画による自己研修をスタッフ全員が視聴する事で、認知症状への知識や理解が深まりケアに生かしている。	○居心地の良い環境作り。 ○コロナ感染予防が必要な間は、外部との交流は最小限にとどめる。再開できるイベントなどは、工夫をして実行していく。 ○地域の方が気軽に立ち寄れる事業所作り
C. 事業所と地域のかかわり	○現在出来ている地域との交流の継続	町内の公民館で月曜午前開催の百歳体操に利用者スタッフ参加。事業所のイベントに地域の方の参加を呼び掛けて2名の方の参加があった。町内の回覧板で地域の情報共有に努めている。	事業所の利用者の高齢化や重度化に伴い、百歳体操へ参加できる方が段々少なくなってきた。今地域交流の在り方を検討する時期に来ている。	○当介護事業所や利用者の方について地域の理解を深める。(元気な高齢者と介護が必要な高齢者の違い等) ○無理のない地域との交流について、考える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	○公民館体操(百歳体操)のお茶会を通して、地域の方々と知り合い信頼関係を築いていく中で、地域の困りごと等で役に立てれば協力させて頂きたい。	全ての外部との交流がコロナ禍の影響でストップしている。必要時は電話で民生委員さんや地域の役員の方と連絡を取り合い、協力関係を築いている。地域の方から個人的に医療や介護の相談を受ける事も増えている。	地域の役員の方や公民館体操で顔を合わせる住民の方とは馴染みの関係が築けている。コロナ禍がいつまで続くか分からない状況の為、なかなか地域に出向くことが難しい。	○事業所が属する地域以外から利用している方も多い。それらの地域における交流の機会も持てるように努力する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	○地域の困りごと等についての情報共有が出来き、地域に積極的に関わられる事業所にしていきたい。	コロナ禍の影響で、昨年は運営推進委員会も感染予防の為、開催回数を減らす事を余儀なくされた。感染が下火になった月に開催し情報共有に努めた。	コロナ感染により運営委員会開催が危ぶまれる状況にある。感染予防を徹底して、運営会議の開催が継続出来る様にする。意見を言い易い環境作り。	○運営委員会の定期開催が困難な状況下における、開催方法について検討する。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○事業所の防災計画等は地域にも知らせ、合同での実施等につなげる。 ○地域の防災訓練に参加する</p>	<p>運営推進委員会で地域の防災訓練計画(避難所の運営等)の状況を町内会長さんから話を聞くことが出来た。地域の防災訓練への事業所の参加について相談実施した。</p>	<p>今年度から防火訓練に加えて防災訓練も介護事業所の義務になった。年 2 回実施する事で、職員の意識向上に努めたい。</p>	<p>○事業所内での訓練の実施に努める。 ○地域での開催が決まれば、積極的に参加する。</p>
----------------------------	---	--	---	---

